

# 教育いちかわ

## 教育の共有化と5つのキーワード

1. 確かな学力を育成します
2. 豊かな人間性を育みます
3. ヘルシースクールを推進します
4. 安全・安心を確保します
5. コミュニティサポートを充実させます

■発行 市川市教育委員会  
〒272-8501 市川市八幡1-1-1  
TEL 334-1111

■企画編集 市川市教育センター  
〒272-0015 市川市鬼高1-1-4  
TEL 320-3335  
FAX 320-3352

## 「食べる」を科学する・・・すこやか口腔検診

ヘルシースクール

食べることは、人間の健康に直結しています。その「食べる」を支えている口の中を様々な角度から調べることで、健康になるための「鍵」が見つかるのです。平成19年度の新たな取り組みとして、「すこやか口腔検診」が始まりました。「WHO健康都市いちかわ」ならではの先進的な試みです。

### 生活習慣病は、大人だけではない!?

近年、生活様式や食習慣の変化により、高血圧、高脂血症などの生活習慣病が低年齢化し、増加傾向にあります。むし歯や歯周病など口腔にかかわる健康についても、歯みがきの習慣だけでなく、食生活や生活リズムなどの生活習慣と深く関わっていることが明らかにされています。そこで、家庭や学校での「良い生活習慣づくり」の教育が大切になってきています。

### すこやか口腔検診、3校で実施

市川市では、小児生活習慣病予防対策の一環として「すこやか口腔検診」を実施することになりました。今年度は、まず、菅野小学校、行徳小学校、第七中学校の3校をモデル校としました。

検診は、①むし歯や歯周病になるリスクがわかるだ液量・だ液細菌検査 ②食べ物を口の中で消化させる力がわかる咀嚼能力検査 ③食べ物を噛む力がわかる咬合圧(こうごうあつ)検査 ④咬み合せのバランスがわかる不正咬合(ふせいこうごう)検査を行いました。

検診当日は、各学校に20名ほどの市川市歯科医師会の先生方がボランティアで参加してくださいました。



「プレスケール」検査キットの一つで、しっかりかんでいるのかを検査するもの。



子どもたちにとっては、見慣れないものばかり。はじめのうちは戸惑っている様子でしたが、歯科医師会の先生方の説明をよく聞き、興味を持って意欲的に受けていました。



だ液を出して検査紙の色の変わり方をチェックする。変化が目でわかり、驚いている。

### 合い言葉は、ひみこの歯がい～ぜ!!

菅野小学校では、検診後に歯科医師会の竜崎会長と小林先生によるカミカミ授業が行われました。竜崎会長は、「みなさんの好きなハンバーガーなどのファーストフードは軟らかくて高カロリーの食べ物です。このようなものばかり食べていると、早食いになったり噛む力が低下したりして肥満の原因になります。口腔の機能を高めるためにはよく噛むことが大切です。『ひみこの歯がい～ぜ』を意識してよく噛んでください。」と教えてくださいました。

- ひ 肥満防止
- み 味覚発達
- こ 言葉の発音ハッキリ
- の 脳の発達
- は 歯の病気予防
- が ガン予防
- い 胃腸快調
- ぜ 全力投球

この口腔検診の結果により、個々の口腔機能のリスクがわかるので、家庭での一人ひとりの食生活の改善に役立てることができます。また、児童生徒の咬合や咀嚼能力の傾向を把握することによって、「食べる機能」を高めていく「食の教育」に生かすことができます。

今後は、医科と歯科の両面からの生活習慣病の予防対策を考え、子どもたちの健康増進に役立てていこうと思います。来年度以降、この事業を拡大し実施校を増やしていく予定です。

[保健体育課]

## よりよい環境で学習を!

### ～各小中学校の普通教室にエアコン設置～

快適な環境の中で学習に集中を・・・。そんな願いをこめて、夏冬兼用の冷暖房設備を整備することになりました。現在、夏の猛暑に間に合うように工事を完了させていく予定で急ピッチで準備を進めています。

エアコンの使用は、当然、地球環境への負荷も大きくすると言わざるを得ません。適正な運転管理はもちろんのこと、学校全体で負荷軽減を考える機会を作りますようにしていきます。



[教育施設課]

## ぼくらのヘルシースクール!!

### ～各学校からの発信～

11月28日(水)、第34回児童・生徒保健研究発表会がグリーンスタジオで開催され、児童生徒98名、学校関係者61名が集まりました。この発表会は、児童生徒に「健康について主体的に考え実践する力をつける」ことを目的に34年前から実施しています。最近では、各校でのヘルシースクールの取り組みについて発表する学校が多くなってきています。では、五校の発表概要をお知らせします。

#### <総合的な学習での取り組み> ～大野小学校～

6年3組が、歯の健康について1年間取り組んだ成果について発表しました。

#### <自作の大型パネルでPR>



#### ～大柏小学校～

「早ね、早起き、朝ごはん」の良さについて調査、研究したことをパネルにまとめました。今回は裁判形式の劇で発表しました。

大柏小の発表の様子

#### <3つの委員会が連携して!>

生活リズムを見直すための方法について、給食、体育、保健委員会が力を合わせて考えたことを全校児童に提案しました。

#### <集会や学習発表会での取り組み>

健康委員会が「朝食」について調査したことや全校児童に取り組んでほしいことを集会や学習発表会などで提案しています。

#### <学校全体で取り組むヘルシースクール>

第六中学校では、「朝食」について、学校全体で取り組んでいます。保健委員会の活動はその原動力になっています。

[保健体育課]

# 平成19年度全国学力・学習状況調査の市川市の結果

確かな学力

## ～小学校、中学校ともに「おおむね良好である」～

参加校数・人数		
(当日の欠席を除く全児童生徒数)		
小学校	39校	3,604人
中学校	16校	2,764人

全国学力・学習状況調査は、全国の小学校6年生と中学校3年生が参加して平成19年4月24日に実施されました。

調査内容は、小学校6年生には国語と算数、中学校3年生には国語と数学の「教科に関する調査」と、児童生徒の学習意欲、学習方法、学習環境等を把握するための「質問紙調査」となっています。

市川市の調査結果は、「教科に関する調査」では、全国の平均正答率と比較すると、小学校、中学校ともに、上下5ポイント未満の範囲であり「おおむね良好である」という状況でした。

小学校は、活用問題の正答率が高く、国語では「計画的・効果的に話し合いを進める」「複数の文章を比べて読む」、算数では「身近な図形の面積などについて式に表したり求め方について説明する」などが、全国の平均正答率を5ポイント以上上回る「良好である」という状況でした。



中1 数学「方程式の応用」

中学校は、知識問題の一部(国語:歴史的仮名遣い、数学:等式の変形など)に全国の平均正答率を5ポイント以上下回る「良好ではない」部分が見られました。

「質問紙調査」では、全国の結果と比較すると「相手・場面に応じた言葉遣いができる」「近所の人に出会ったときあいさつすることができる」などの割合が高く、これは教育委員会が推進している「市川の学校教育3カ年計画」の「美しい日本語の使い手の育成」「あいさつができる子ども育成」などの成果であると考えています。

また、「世の中のいろいろな出来事に関心が高く、新聞やテレビのニュースをよく見ている」児童生徒の割合が高いという結果も出ていました。

一方で、基本的な生活習慣(睡眠時間の管理や翌日の準備など)が確立できていなかったり、地域活動に参加していなかったりする児童生徒の割合が高いなどの特徴が見られました。

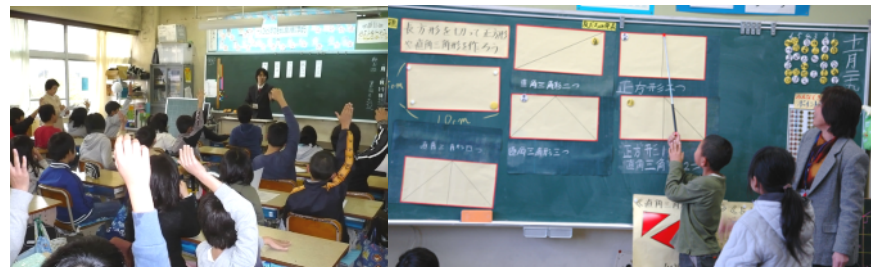
教育委員会では、この調査の分析結果を踏まえ、「教育の共有化」の基に、学校・家庭・地域がそれぞれの教育力を発揮し相互に連携・協力しながら、一体感のある教育を更に推進し、「市川の学校で学習して良かった」「市川の学校に通って良かった」という声が数多く聞こえてくるように、日常の取り組みの改善・充実を図ってまいります。

なお、分析結果の詳細につきましては、市川市教育委員会のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/net/kyouiku/index.htm>

[指導課]



小5 国語「読書会をしよう」

小3 算数「形を調べよう」

例えば、国語の「同じ本を読んで書いた二人の感想文から、共通するよいところを書く」という問題は、市川市の児童は高い正答率でした。これは、市川市が長年にわたり読書教育に取り組んできた成果が表れたものと考えられます。「公共図書館と学校を結ぶネットワーク」「学校図書館員の配置」の教育施策や学校の先生方の感想文指導、また、市川市図書館教育部会発行の読書感想文集「いちかわ」、市川子どもの本の会発行の「子どもの本200選」などによって児童が優れた作品に触れる機会に恵まれたことなどがあげられます。

## 市川市教育功労者表彰式



11月16日(金)、平成19年度市川市教育功労者表彰式が行われ、11個人・団体に、五十嵐委員長より表彰状と記念品が授与されました。教育功労は多年にわたり学校教育、社会教育または家庭教育の振興に優れた功績をあげられた方を表彰するものです。今年度は、さらに団体としての活動についても、本市の教育に貢献されたことを称え2団体が表彰されました。

受賞者は、つぎの方々です。受賞された皆様、おめでとうございます。(敬称略)

個人の部	佐藤 順一	市川市幼児教育振興審議会 会長
	川崎 善明	市川市私立幼稚園協会 理事
	中嶋 信子	市川市立稲越小学校 教諭
	本間 明美	市川市立宮久保小学校 上席専門員
	野町 淳	市川市立大野小学校・下貝塚中学校 学校医
	石田 剛	市川市立第三中学校 学校歯科医
	池田 陽子	市川市立行徳小学校・塩焼小学校 学校薬剤師
	塚本 育弘	明るい社会づくり市川・浦安協議会 事務局長
団体の部	嶋村 寛	前市川市少年センター運営協議会 委員
	市川図書館友の会	代表(会長) 鈴木 正義
	市川博物館友の会	代表(会長) 森 巨男

[教育総務課]

## 市立須和田の丘支援学校稲越校舎 開校

確かな学力

市立特別支援学校の教室不足の解消や障害のある子どもたちの指導・支援を一層充実するために、市立稲越小学校の余裕教室を利用して、1階部分に市立特別支援学校の小学部を分校として併設する計画を進めてまいりました。平成19年3月下旬より始めた内部改修工事も順調に進んでいます。

開校に向けての諸準備や両校の連携促進については、特別支援学校、稲越小学校の学校・保護者の代表者による運営委員会を4回開催し、情報交換や協議を行って理解を深めております。また、稲越小学校6年生と特別支援学校小学部児童との交流活動、両校教職員の合同研修会、さらに、稲越小学校保護者対象の講演会など、平成20年4月開校に向けて着実に進めているところです。



教室の様子



安全に配慮して、角に丸みをほどこした洗面台

なお、市立特別支援学校は、子どもたち、保護者、教職員、地域の方々に一層愛着を持っていただけるよう、学校が中心になって校名変更を検討した結果、平成20年4月より、「市川市立須和田の丘支援学校」に校名を変更することになりました。小学部の分校については、「市川市立須和田の丘支援学校稲越校舎」に決まりました。

[企画調整課]

# 「江戸しぐさ」と「美しい日本語」

美しい日本語でひびき合う心  
～シリーズ 其の参～

確かな学力

豊かな人間性



3年生「語りの広場」の授業 1年生に物語を語るための準備(富美浜小)

「江戸しぐさ」という言葉をご存知でしょうか。昨年のテレビコマーシャルで「肩引き」「こぶし浮かせ」や「傘かしげ」などのマナーが紹介されていたので、それを記憶されている方も多いのではないのでしょうか。「江戸しぐさ」は、当時百万人を超える人口を抱えた江戸の町民が、互いに気持ちよく過ごすための共生のルールであり、生き方の知恵とも言えるものです。そこでは、相手を思いやる事を大切にされた人々の言葉遣いやしぐさとともに、「人間力」を育むための教育がすでに実践されていました。

例えば、「お心肥(おしんこやし)」という言葉は「心を豊かにして人としての教養を高める」という意味ですが、ここでの教養とは「読み書きソロバン」に代表される机上の知識だけではなく、実際に見聞・体験し、頭を働かせ、自分で解決して初めて備わるものであると考えられていたそうです。

また、「三つ心、六つ躰、九つ言葉、十二文、十五理で未決まる」と、子どもの成長段階に合わせて、そこで身に付けるべき資質を示し、教育の基本としていました。三歳までに、親のしぐさや行動から心の大切さを実感させ、六歳では行儀作法をしっかり身体に覚えこませる。九歳までにはどんな人にも失礼でない挨拶や言葉遣いを身につけさせることを親の責任とし、十二歳になると、一家の主の代書ができる程の文章が書けるようにする。そして、15歳では物の道理がわかるようにしなければならない、としていたのです。当時の年齢が数え年であったことを考えると、かなりハードな教育方針だったと考えられます。

## はばたけ！ 市川のリーダーへ

豊かな人間性

わんぱくセミナー(小学生対象)・ジュニアリーダー講習会(中学生対象)  
ヤングカルチャースクール(高校生対象) 全日程修了！！



ともだちと「ぶんぶんごま」で遊ぶ様子

10月20日(土)～21日(日)、少年自然の家にて、ジュニアリーダー講習会・ヤングカルチャースクールの秋季宿泊研修を行いました。

テーマは「歌う喜び・作る喜び」。東京都キャンプ協会の仁平勝己先生を講師にお招きし、1日目は「へなちょこ納豆マンの歌」など楽しいキャンプソングで盛り上がり、2日目は上手に飛ばせば20m以上も飛ぶ「トゥービー」など、おもちゃ作りとその遊び方を中心に活動しました。

特に谷川俊太郎の詩「すっとびとびすけ」の群読、また合唱「君の目の中で」は、参加した子ども会役員の方を感動の渦に巻き込み、受講生の心にもきっと素敵な思い出として心に残ったことでしょう。

12月2日(日)には最後の講習会も行われ、市内の中学生40名・高校生8名が市川市のリーダーとしての活躍と希望を胸に、巣立っていきました。



わんぱくセミナー全員集合(行徳小学校会場)

「市川市の一番は誰だ?」～10月14日(日)の第4回わんぱくセミナーはチャレンジランキング大会!。「豆つまみ・皿うつし」「靴とばし」「鉛筆積み」「ぞうきんがけレース」など、身近な材料や道具を使った競技に挑戦!熱い戦いが繰り広げられました。結果、2種目で市川市新記録が生まれるなど、「遊びの秋」をみんなで満喫しました。

11月11日(日)は最終回。フリスビー作りと閉講式が行われ、仲良くなった友達やリーダーとの別れを惜しみつつ、市内90名の小学生が修了しました。また来年、わんぱくセミナー・ジュニアリーダー講習会で会いましょう。

[青少年育成課]

各学校が推進する「美しい日本語の使い手の育成」は「母語としての国語力の向上」と併せて、この「江戸しぐさ」に表される「自分を磨き、相手を思いやる」という精神を共有しています。

現在、「あいさつ運動」や「読み聞かせ」の取り組みが幅広く行われ、学校教育3カ年計画の重点として、「言葉遣いのマナー」や「コミュニケーション」に関する指導を実践的に研究する学校も見られます。

各学校の取り組みは多岐にわたりますが、全体としての実施状況を把握するために、9月に調査を行いました。以下の表はその抜粋です。児童生徒への指導とともに、教職員の言葉遣いの見直しや地域ぐるみでのあいさつ運動が進められています。今後も、各学校と家庭・地域が協力し、実践する中で市川教育の新しい文化に発展することを期待しています。

### 各学校の取り組み状況

実施内容	幼	小	中・特
あいさつ運動を実施している	6	38	16
朝の読書活動を実施している	1	31	15
読み聞かせ活動を実施している	8	37	13
学校図書館や校内の掲示等を活用し、美しい日本語を意識付けている	0	26	11
読書週間等で美しい日本語に関係する取り組みをしている	0	18	6
言葉のマナーに関する特別な指導を行っている	2	7	6
音読・朗読・群読等の特別な指導や活動を行っている	0	21	10
コミュニケーション能力を高めるための特別な指導を行っている	1	15	6
教職員の言葉遣いのあり方について、学校全体で取り組んでいる	4	21	6
保護者や地域に対して、学校便り等で情報を提供したり、協力を呼びかけたりしている	1	23	7

[指導課]

### 第63回 市川市児童生徒音楽会 ★11/15～16★

確かな学力



市川市文化会館 大ホール

上:中国分小学校 合唱  
下:第五中学校 吹奏楽

市内の小・中・特別支援学校56校に通う児童・生徒を対象に、毎年「児童生徒音楽会」を開催しています。今年は、2日間で4,080人の児童・生徒が、合唱・吹奏楽・管弦楽等の音楽を披露しあい、市川市にゆかりのある演奏家による招待演奏も楽しみました。毎年恒例である「ともだちはいいな」の全体合唱では、ホールが歌声でいっぱいになり、子どもも大人も満足の日間でした。

[指導課]

### 市川市子ども作品展・新聞展 ★11/15～18★

確かな学力

本年度は、昨年度の9,551人 市川市文化会館 展示室・大会議室を上回る、9,869人の方々に見学していただきました。市内の幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校から出品された作品は、子どもたちの夢や願いがこもった力作ばかりで、「感動をありがとう!」「元気をたくさんもらいました。」という感想が寄せられ、多くの方々に楽しんでいただくことができました。

子どもたちの感想は、「粘土がすごかった。絵がとてもすごかった。(幼稚園児)」「ぼくの作品を見ることができて嬉しかったです。他の人の作品はみんな上手でした。(小学生)」「どの作品も個性があってよかったです。私も頑張って、この作品展に出品されるような作品をつくりたいです。(中学生)」などがありました。

大人の方からは「どの作品も楽しく工夫があり、見ていて元気ができました。子どもの作品はのびやかでとても良いものだと思えました。また来年も見学に来てみたいと思っています。」「小学生・中学生共にとっても素晴らしい作品がたくさんあり、感動しました。」「どの作品も力作で、見ていて楽しかったです。幼稚園児の作品はほのぼのと、小学生は個性あふれるもの、中学生はち密で完成度が高い、とそれぞれ良さがあって感心しました。」などの声が寄せられました。来年度も、子どもたちの夢にあふれた素晴らしい作品を、数多く展示したいと思います。

[指導課]



# 地域の活動情報は『コミサポ情報ネット』で

コミュニティサポート

**コミサポ情報ネット**  
あ/たのまのちの地域活動情報をゲット!!

コミサポ情報ネット  
あ/たのまのちの地域活動情報をゲット!!

コミサポ情報ネット  
あ/たのまのちの地域活動情報をゲット!!

コミサポ情報ネット  
あ/たのまのちの地域活動情報をゲット!!

赤い文字の学区が19年度の情報が掲載されています。

第一中学校区  
市川小学校区  
国府台小学校区  
中野小学校区

第二中学校区  
高野小学校区  
富貴高小学校区  
百舌小学校区

第三中学校区  
八幡小学校区  
富貴高小学校区  
百舌小学校区

学区

**コミサポ情報のトップページ  
アドレスは、欄外に記載**

「地域で子どもと参加できるイベントはないかしら?」「今、学校ではどんな行事があるのだろう?」などと思ったことはありませんか。そのような時は、市川市教育委員会WEBサイト『コミサポ情報ネット』をご覧ください。

『コミサポ情報ネット』では、「PTA」「子ども会」「コミュニティクラブ」「青少年相談員」「体育指導委員」「自治会」「民生委員」「学校」など、コミュニティサポートに参加している関係諸団体が主催するイベント・行事情報などを一堂に掲載しています。小・中学校ブロックごとに、いつ・どこで・どの団体が主催の・どのような行事があるのかを、カレンダー形式で見ることができます。(下図参照)。平成19年1月現在、約2,500件の行事・イベント情報を掲載しており随時更新しています。

日	時間	イベント・行事名	場所	主催
2日(土)	10時~	お菓子教室	百合台小家庭科室	三中ブロックコミュニティクラブ *10時
4日(月)		5年生保護者による登校指導		百合台小PTA 2月7日
9日(土)	10時30分~12時	ふれあい広場	中央公民館	第三中ブロックコミュニティクラブ
9日(土)		地域へ開放	ふくろうの家	ふくろうの家
12日(火)		新・1年保護者説明会	百合台小体育館	百合台小
12日(火)		資源回収		百合台小PTA
16日(土)		地域へ開放	ふくろうの家	ふくろうの家
20日(水)		防犯パトロール	自治会内	富久保2丁目自治会
23日(土)		地域へ開放	ふくろうの家	ふくろうの家
29日(金)	18時30分~	第5回コミサポ委員会	百合台小第一会議室	百合台小学校区コミュニティサポート
	9時30分~15時	ヘルスポール大会	稲越小体育館	青少年相談員4地区

平成20年2月

平成20年3月

日

時間

イベント・行事名

3日(月)

5年生保護者による登校指導

5日(水)

6年生を送る会

6日(木)

4年生保護者による登校指導

場所

主催

9月10年度

第三中ブロックコミュニティクラブ

ホームページには、コミサポのイベント情報が満載!!

## 各委員会発行「コミュニティサポートだより」の閲覧も

各小・中学校区に設置されている55の「コミュニティサポート委員会」では、子どもたちの教育や育成に関する様々な情報交換や意見交換等が行われていますが、それらの状況を掲載した広報紙「コミュニティサポートだより(任意発行)」も閲覧できます。各広報紙ともそれぞれ特色ある紙面構成で、様々な情報を掲載しています。コミサポ情報ネット内にある「コミュニティサポートだより」のアイコンをクリックして、ぜひご覧ください。

### 【コミサポ情報ネットのアクセス方法】

- 市川市のWEBサイトを開く
- ⇒ 教育委員会のWEBサイトを開く
- ⇒ 左記のロゴをクリック!
- アドレスは欄外に記載

### 【コミュニティサポート】

子どもたちを中心において、学校・家庭・地域の連携を一層推進し、みんなで力を合わせて子どもたちの活動を支えていくためのものです。

[企画調整課・地域教育課]

## コミュニティクラブ ボランティア研修会「野外料理」



各ブロックのボランティアが自分たちの意識や技能を高めるために、年に数回、自ら企画・運営して研修会を行っています。

今回の内容は「野外料理」で、11月11日(日)に少年自然の家の野外炊事場を利用して、スモーク(玉子、チーズ、かまぼこ)、ポトフ、きのこ牛肉の混ぜご飯(鍋炊き)を作りました。

講師の方から手順や安全面などのアドバイスを受けた後、スモーク作りを始めました。ダンボールを利用しての手軽な方法で、できばえも抜群によかったです。使う木の違いで味が変わることもよく分かり、参加者からはぜひ自分たちのブロックでもやってみないと好評でした。

次にポトフ作りです。手際よく野菜を切り、薪に火をつけて調理を開始しました。こだわった味付けに、イメージとはちょっと違ったけれども満足いく一品が出来上がりました。

最後に、きのこ牛肉の混ぜご飯です。お米を計ろうと思ったら軽量カップがない!慌てていると講師の方から飯ごうでの計量法を教えて頂いて一安心。しかし鍋でご飯を炊くのは水加減、火加減が難しく、四苦八苦しながらなんとか作ることができました。参加者からは、みんなで協力しながら楽しく学べ、よい経験になったとの声が聞かれました。とても有意義な研修会になりました。

[地域教育課]

## 収穫に 感謝! 感謝!!

稲作体験(収穫感謝祭)



稲刈りは、9月15日に実施

未来のシェフが大活躍

10月13日(土)、少年自然の家のつどいの広場にて「市川米っ人くらぶ収穫感謝祭」が行われました。

豊かな人間性

朝からカレー作りや炊飯、餅つきの準備で大忙し。玉葱や人参を刻んだり竈(かまど)で火をおこしたり...とおぼつかない手つきのチビっ子シェフたちですが、みんなで一生懸命作りました。別のテーブルでは、ボランティアのお姉さんたちの指導で、「太巻き寿司」も作られ、何とか式典が始まる11時までに準備を済ませることができました。

式典では、教育長から祝辞を頂いたあと、「皆勤賞」と「案山子コンクール」の表彰がありました。収穫したお米を賞品にもらった受賞者は、ニコニコと嬉しそう。「米っ人クラブ」ならではの最高の副賞となりました。

続いて食事が行われました。「いただきます〜す」と大きな声を響かせて、カレーライスやお雑煮、あべかわ餅などもお腹いっぱい食べました。中には、おにぎりを5つも食べたつわものも...

やっぱり自分たちで作ったお米は“おいしいね〜!”

[地域教育課]

## 自然博物館

### 散策会のお知らせ「柏井の谷津」

2月17日(日) 柏井町周辺

季節ごとの風景を楽しみながら、気軽に散策します。申し込みは不要。集合場所は、博物館にお問い合わせ下さい。また、天候不良の時は、中止です。

## 考古博物館

### 開館35周年記念企画展「市川市の縄文貝塚」

堀之内・曾谷・姥山の三大貝塚をはじめ、50カ所以上の縄文時代の貝塚がある市川市。ここは、全国でも有数の貝塚密集地帯となっています。これらの貝塚の多くは当時のムラの跡で、縄文人たちが海の幸をバランスよく食生活に取り入れ、暮らしていたことを示しています。これまでの発掘成果とともに、市川の縄文人たちの暮らしを復元します。

【期間】平成20年2月2日(土)~5月11日(日) 9:00~16:30

【会場】市川歴史博物館2階 特別展示室

《企画展開連行事》→ 申込みは、後日広報いちかわ紙上等でお知らせします

- ・ギャラリートーク 2/3(日) 3/9(日) 4/6(日) 5/11(日)「申し込み不要」
- ・貝塚見学会 3/2(日) 4/27(日)
- ・記念講演会 3/16(日)
- ・研究発表会 3/16(日)

